



園だより



2019年10月1日 No.7



【3歳以上児の無償化と副食費の実費負担】

ジリジリと焼き付けるような暑さも峠を越え、朝夕と過ごしやすくなりました。千葉県の方の被害が深刻です。実家が停電の被害にあった職員もいます。災害を予測しどの様に備えるか、常に点検を心がけていきたいと思えます。9月には非常食を試食しました。子どもたちには評判は良かったです。

10月から幼児教育、保育の無償化が実施されます。今回の無償化は3歳以上児の保育料が所得制限なしで無償になります。しかし、その一方で副食代が（おかず、おやつ代）4500円の実費徴収となりました。また、世田谷区では徴収基準の年収を引き上げ760万（国は360万）以上が対象となります。各自治体によっても様々で副食代も自治体が負担するところや4500円以上のところもあります。園長会でも自治体負担で話し合いを進めましたが、実現の運びにはなりません。今後、世田谷区でも自治体負担の方向へ転換してくれることを願っています。徴収の方法については現在、手続きを進めています。決まりましたらお手紙で連絡しますのでよろしくお願いいたします。今月は「わくわくキラキラ つくしんぼまつり」を実施します。詳しい内容は「わくわくキラキラ つくしんぼまつりだより」でお知らせしますのでご覧ください。それぞれの年齢



の子どもの姿にご注目下さい。

「恒例のサンマ焼き」

ご承知ですが、今年はサンマが不漁で魚屋さんも苦勞しています。海水温の上昇で自然界に異変が起きています。最近、気温も下がってきているので期待もしていますが…

お誕生日おめでとう



10月の行事予定



1	火	わらべ歌指導	西山裕子先生
3	木	サンマ焼き	
8	火	ゆず組保育参観	～10日
10	木	避難訓練	
17	木	定期健康診断	
26	土	第10回 わくわくキラキラ つくしんぼまつり 雨天	27日(日)
29	火	発達指導 木村順先生 みかん保育参観	～31日

「つくしんぼ保育園の保育目標」

- 1、人間として、人間らしく生きていくことができる子ども。
- 2、意欲的で自分の要求を出し相手の要求も聞くことができる子ども。
- 3、やさしく思いやりのある子ども

10月のクラス・どんぐり・みずきの様子

ゆず

涼しくなり戸外遊びの季節となりました。入園した春は歩行ができなかったのですが今は歩ける子どもも増えてきて、お散歩の楽しみ方も広がってきました。園庭では、しゃがんだり座ったりしながら砂をいじったり、シャベルで遊ぼうとしたりしています。園庭にある築山に登ってみたり、タイヤを引っ張ってみたりと身体が自由になるっていいですね。

みかん

フールが終わり、お散歩に出かける事も多くなりました。久しぶりに外に出ようとする自分分でくつやくつ下をはこうとする子どもたちです。出来る事も増えているみかん組です。

お部屋での遊びもみだつもりあそびが増えてきています。お家でのパパやママの姿だったり、兄弟の様子だったりと憧れの存在があることが、再現遊びに繋がってきます。

すもも

いっぱい遊んだ感触あそびや水遊びも終わりになり、散歩の機会も増えてきました。手をつないで歩く事も上手になり、これから遠出も増えてきます。戸外では虫に興味を持ち捕まえようとしたり、公園の遊具で体を動かして遊んでいます。最近ではごっこ遊びが盛んになり役になりきって遊んでいる子どもたちです。

れもん

折り紙で作ったコウモリをストローに着けて飛ばして、暗いホールで「コウモリのおうち」ごっこをしたり、小麦粉粘土で作ったパンをトースターで焼いてパン屋さんごっこをしたりして楽しんでいます。自分たちで考えながら想像豊かに遊びを展開しとても楽しそうです。

りんご

9月に入り荒馬熱がだんだん盛り上がってきました。そらの男の子たちが太鼓を叩いているのに影響をうけて、にじさんの男の子たちもラップの芯で太鼓のバチをつくり叩きはじめるようになりました。そのうちに「太鼓を叩く人」「踊る人」と役割に分かれ「じゃ次は入場からね」とごっこのように楽しんでいます。かぜさんをにじ、そらをよく見えています。

さくらんぼ

ホールでの荒馬や動物になりきったり、体を動かすことが大好きなさくらんぼ組の子どもたち。戸外遊びも遠いところまで歩いて行けるようになり、「今日は〇〇公園がいい」とリクエストが絶えません。大人 VS 子どもとの鬼ごっこでは子どももちろん大人も全力で走り回っています。これから来る風邪の流行も跳ねのけていきたいです

どんぐり

夏休みは幼児の利用が多かったどんぐりですが、9月になると一変して1歳児の利用が多くバタバタと賑やかな毎日をご過ごしています。初めて利用する子どもも多く、保護者から離れると不安から「ママがいの～」と泣いていると「ママがいの？」と優しく声をかけてくれるつくしんぼの子どもたちがそこにいます。

みずきひろば 子育て広場「みずき」は地域に

開かれた場所として活用されています。年齢は0歳1ヶ月位から、就学前の子どもたちが来ています。人見知り時は、ママの胸に抱かれながらも怖いもの見たさに見知らぬ大人に目をやりながらも世界を広げていきます。わらべうたの心地よさに落ち着き笑顔になっていくので私たちはホッとしています。♪お時間があれば覗いてみてください♪